

自助、共助、公助を促進する プラットフォームを提供します

会頭 白谷 喜世彦



新年あけましておめでと
うございます。

今回のコ
ロナはこ
れまでの
変化より
もはるかに
大きな影響を私たちに与え
ました。しかし、この変化は
コロナによって起ったので
はなく、コロナがきっかけと
なり、明確になっただけのよ
うです。環境問題、少子高齢
化、財政問題、ネットの過熱、
社会保障、格差拡大などの問
題が先送りできない問題と
して、より明確になったので
す。そして、私たちはこれら
の問題に対応しないと生き
残っていきません。では、ど
うするのか？いままではい

いものを安く、大量に、いつ
でも、どこでもというキー
ワードに、どれだけ応えるか
がビジネス成功のカギでし
た。うまいことやっている人
や、ことをいち早く取り入れ
て、それに自分の工夫をプラ
スして一生懸命頑張れば何
とかなることが多くありま
した。でも、これからは消費
者のニーズを直接聞いて、自
分にしかできないものやこ
とを提案し、わかってもら
い、ファンを作って売ってい
く。そのように頑張っていく
ことが必要となってきたよ
うです。このように、いま必
要なのは、必要とされるもの
を自分にしかできないもの
やことを使い、創り出すこと
のようです。このため、自分

のもっているものやことを自
分では思いつかないような観
点から見直し、足りないこと
は他の人の力を借りること
によって求められる新しいも
のを作っていくことが必要と
されます。このように新しい
価値を作るために必要なイ
ノベーションは、既存のものを
新たな視点で組み合わせると
いう新合成によって実現され
ます。そのためには、いまま
でとは違う視点の仲間、違う
業界の人と一緒に協働(コラ
ボレーション)していく必要
があるのです。泉大津商工会
議所は、このようなイノベー
ションができるように、いろ
いろな情報の提供とコラボ
レーションができるプラット
フォームを提供していきま
す。みなさんが自助・共助を
実行し、公助が得られるお手
伝いをしてまいります。今年
もよろしくお願いいたしま
す。

三位一体の情報発信を目指し

広報委員長 西川 博之



新年あけましておめでと
うございます。

昨年10月
に小門委
員長より
引き継ぎ
選任いた
だきました
広報委員
会委員長
の西川です。

泉大津市市制80周年の節
目である令和4年度は、
本市の魅力を高められる記
念事業を官民連携、市民共創
の理念のもとに実施をし、皆
様とともに未来に希望が感
じられる一年にしたいと強
く願っております。今後も白

ではそのような情報をいち
早く、分かりやすく泉大津市
民の皆様にお伝えし、泉大津
の商工業者様と共に泉大津
経済の発展に微力ながら寄
与したいと考えております。
また広報委員会ではweb
利用研究委員会が運営して
いる「泉大津ドットコム」、FM
いずみおおつ活用研究会の
FM番組「おづのツボ」とも
連携を深め、情報をインタ
ネット、公共電波、紙面媒体
の三方向から積極的に発信
しタイムリーに皆様に情報
提供を行ってまいります。
泉大津市民の皆様にとっ
て有意義で、そして手に取っ
ていただきやすい商工会議
所ニュース作りをさらに加
速出来るよう努力してまい
りますので、今後とも皆様の
より一層のご支援を賜りま
すようお願い申し上げます。

新年のご挨拶

市長 南出 賢一氏



新年あけましておめでと
うございます。

旧年中は
市政各般
にわたり、
格別のご
高配を賜り
厚く御礼申し
上げます。

昨年
は新型コ
ロナウイ
ル感染症
の拡大に
より、1
年の大部
分において
外出自粛
をはじめ
時短営業
等の要請
がなされ
、地域経
済に多大
な影響が
生じまし
た。

泉大津市市制80周年の節
目である令和4年度は、
本市の魅力を高められる記
念事業を官民連携、市民共創
の理念のもとに実施をし、皆
様とともに未来に希望が感
じられる一年にしたいと強
く願っております。今後も白

谷会頭はじめ、商工会議所の
皆様と協力して挑戦してい
きたいと考えておりますの
で、さらなる連携とご協力を
お願い申し上げます。
結びにあたり、泉大津商工
会議所の益々のご発展と、本
年が皆様にとって素晴らし
い一年でありますよう心か
らご祈念申し上げます。

あけまして

